

2020

[共同研究]

歴史資料

デジタルアーカイブデータを用いた 知的構造の創生に関する研究

—小袖屏風を対象として

濱上知樹・澤田和人 編



共同研究の経過と概要 濱上知樹

小袖屏風の制作意図に関する一考察 澤田和人

【研究ノート】知能情報処理によるデジタルアーカイブの高度化技術 濱上知樹

デジタルアーカイブにおけるDeep Learningを用いたメタデータ生成 濱上知樹

屏風画像のスパース性緩和のための類似画像を用いた近傍学習 濱上知樹

小袖屏風を対象としたインタラクティブ展示システムの開発 濱上知樹

小袖屏風に関するデータベースシステムの構築とストーリーに沿った情報提示
萩生田明德・大門利都子・田中友章・富井尚志

小袖屏風画像を利用した模様画像の合成
白川真一・井田有香・大原剛三・豊田哲也

小袖屏風画像の構図の特徴に基づく類似画像検索システムの提案
二神廉太郎・澁谷長史

画像処理による小袖屏風の模様検出 中島慶人

国立歴史民俗博物館 研究報告

第220集
令和2年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

Collaborative Research:
Research on the Creation of Intellectual Structure
Using Digital Archive Data of Historical Materials:
Focusing on Kosode Folding Screen

Edited by HAMAGAMI Tomoki and SAWADA Kazuto

国立歴史民俗博物館
研究報告
第220集

【共同研究】
歴史資料デジタルアーカイブ
データを用いた知的構造の
創生に関する研究
—小袖屏風を対象として

濱上知樹・澤田和人 編

国立歴史民俗博物館研究報告 第220集

[共同研究] 歴史資料デジタルアーカイブデータを用いた知的構造の創生に関する研究
—小袖屏風を対象として

目次

共同研究の経過と概要	濱上知樹	1
小袖屏風の制作意図に関する一考察	澤田和人	9
[研究ノート] 知能情報処理によるデジタル アーカイブの高度化技術	濱上知樹	37
デジタルアーカイブにおける Deep Learning を用いたメタデータ生成	濱上知樹	47
屏風画像のスパース性緩和のための 類似画像を用いた近傍学習	濱上知樹	77
小袖屏風を対象とした インタラクティブ展示システムの開発	濱上知樹	103
小袖屏風に関する データベースシステムの構築と ストーリーに沿った情報提示	萩生田明德・大門利都子 田中友章・富井尚志	137
小袖屏風画像を利用した模様画像の合成	白川真一・井田有香 大原剛三・豊田哲也	169
小袖屏風画像の構図の特徴に基づく 類似画像検索システムの提案	二神廉太郎・澁谷長史	187
画像処理による小袖屏風の模様検出 方向別共起ヒストグラムの活用	中島慶人	203

Contents:

HAMAGAMI Tomoki	— Progress and Overview of the Collaborative Research	1
SAWADA Kazuto	——— A Consideration of the Intent Behind the Creation of Kosode Byobu	9
HAMAGAMI Tomoki	— [Research Notes] The Advanced Digital Archives Technologies by the Intelligent Information Processing	37
HAMAGAMI Tomoki	— Metadata Generation Using Deep-Learning in Digital Archives	47
HAMAGAMI Tomoki	— A Neighbor Space Learning by Similar Image for the Easing of Sparsity	77
HAMAGAMI Tomoki	— Development of an Interactive Exhibition System for Kosode Byobu	103
HAGIOITA Akinori, DAIMON Ritsuko, TANAKA Tomoaki and TOMII Takashi	——— Construction of a Database System about the Kosode Byobu Collection and Showing Information along Appropriate Stories	137
SHIRAKAWA Shinichi, IDA Yuuka, OHARA Kouzou and TOYOTA Tetsuya	——— Pattern Image Synthesis Using Kosode Byobu Images	169
FUTAGAMI Rentaro and SHIBUYA Takeshi	——— A Proposal for Image Retrieval System Based on Features of Composition of Kosode Byobu	187
NAKAJIMA Chikahito	— Pattern Detection on Kosode Byobu by Image Processing: Utilization of Directional Co-Occurrence Histogram	203

『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

平成 31 年 3 月 5 日 研究推進センター会議改正

1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』(以下「研究報告」という。)は、国立歴史民俗博物館(以下「本館」という。)の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」(以下「論文等」という。)を発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。
- 1.3 掲載される論文等には、次の区分がある。
 - 一 論文：歴史学、考古学及び民俗学並びにそれらと関連する諸分野に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、若しくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの
 - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、若しくは予察、試論、着想等を提示するもの
 - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの
 - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、若しくは調査・研究の基礎情報を提示するもの
- 1.4 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。

2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授
 - 二 本館運営会議委員
 - 三 本館の共同研究員等
 - 四 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等
 - 五 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者(リサーチアシスタントを含む)
 - 六 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 七 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生
 - 八 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 九 その他、研究報告編集委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めた者
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の共同研究員等
 - 二 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等
 - 三 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者

3 投稿

- 3.1 原稿は、区分を問わず未発表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.2 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.3 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳又は抄訳を付ける。
- 3.4 「論文」には、800 字以内の日本語要旨及び 400 語程度の英語要旨並びに 5 項目以内のキーワードを付ける。
- 3.5 原稿の分量は、区分を問わず刷り上がりが 40 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内を目安とする。なお、1 頁の文字数は 1,700 字を目安とする。3.6 特集号の原稿の総分量は、原則として、刷り上がりが 500 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内に収めるものとする。
- 3.7 カラー図版は、原則として認めない。希望する場合は理由を提出し、委員会の許可を得る。

- 3.8 写真・図版・翻刻等の研究報告及び本館のリポジトリへの掲載に関する許諾は執筆者がとり、使用料も原則として執筆者が負担する。
- 3.9 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は別に定める。

4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。
- 4.3 掲載順序は、通常号においては「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」の順とし、同区分の場合は著者の五十音順とする。特集号においては本館共同研究等の代表が定める。

5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は刊行から1年後以降、データのみ場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、100部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員 (五十音順)

伊藤紫織 尚美学園大学芸術情報学部
大石泰夫 國學院大學文学部
見城悌治 千葉大学国際教養学部
寺前直人 駒澤大学文学部

館内委員

川村清志 研究部民俗研究系
小島道裕 研究部歴史研究系
島津美子 研究部情報資料研究系
松木武彦 研究部考古研究系 (編集委員長)
関沢まゆみ 研究部民俗研究系 (研究推進センター長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第220集
〔共同研究〕歴史資料デジタルアーカイブデータを用いた
知的構造の創生に関する研究—小袖屏風を対象として
濱上知樹・澤田和人 編

●
令和2年(2020) 3月31日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所

●
大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●
株式会社 正文社

〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6 ☎043-233-2235(代)

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Collaborative Research :

**Research on the Creation of Intellectual Structure Using Digital Archive Data
of Historical Materials : Focusing on Kosode Folding Screen**

Edited by HAMAGAMI Tomoki and SAWADA Kazuto



Progress and Overview of the Collaborative Research

HAMAGAMI Tomoki

A Consideration of the Intent Behind the Creation of Kosode Byobu

SAWADA Kazuto

[Research Notes] The Advanced Digital Archives Technologies by the Intelligent Information Processing

HAMAGAMI Tomoki

Metadata Generation Using Deep-Learning in Digital Archives

HAMAGAMI Tomoki

A Neighbor Space Learning by Similar Image for the Easing of Sparsity

HAMAGAMI Tomoki

Development of an Interactive Exhibition System for Kosode Byobu

HAMAGAMI Tomoki

Construction of a Database System about the Kosode Byobu Collection
and Showing Information along Appropriate Stories

HAGIOITA Akinori, DAIMON Ritsuko, TANAKA Tomoaki and TOMII Takashi

Pattern Image Synthesis Using Kosode Byobu Images

SHIRAKAWA Shinichi, IDA Yuuka, OHARA Kouzou and TOYOTA Tetsuya

A Proposal for Image Retrieval System Based on Features of Composition of Kosode Byobu

FUTAGAMI Rentaro and SHIBUYA Takeshi

Pattern Detection on Kosode Byobu by Image Processing :

Utilization of Directional Co-Occurrence Histogram

NAKAJIMA Chikahito

ISSN 0286-7400

vol.220
2020